

ファン同士での活性化を目的としたコミュニティマップの実現

恩田康世 / 武蔵野大学データサイエンス学部1年 / 石橋ゼミ

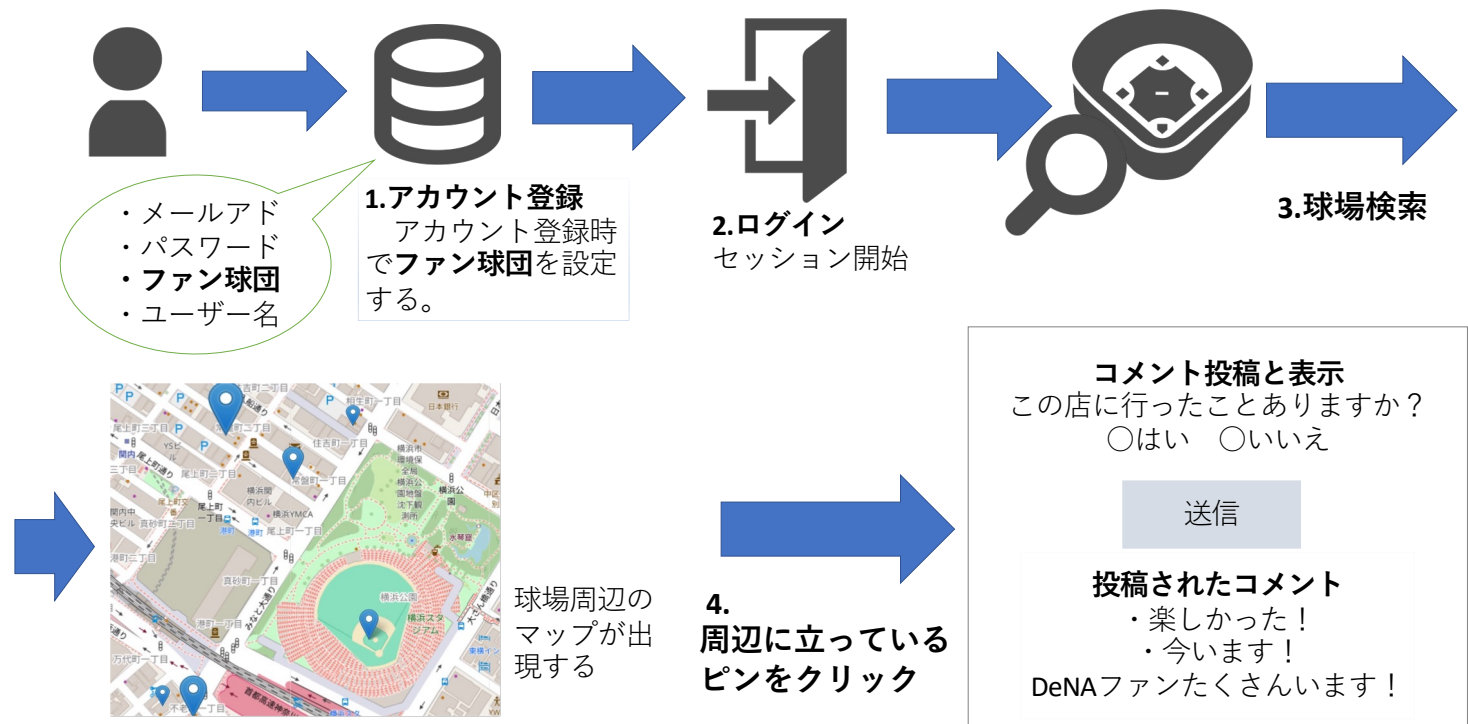
背景

プロ野球の試合では試合後に各チームのファン同士が飲食店でオフ会を開くことがある。しかしビジターでのゲームの場合、土地勘がないことや直接観戦するファンが少ないなどの問題により、オフ会に参加するファンが減ってしまう。

目的

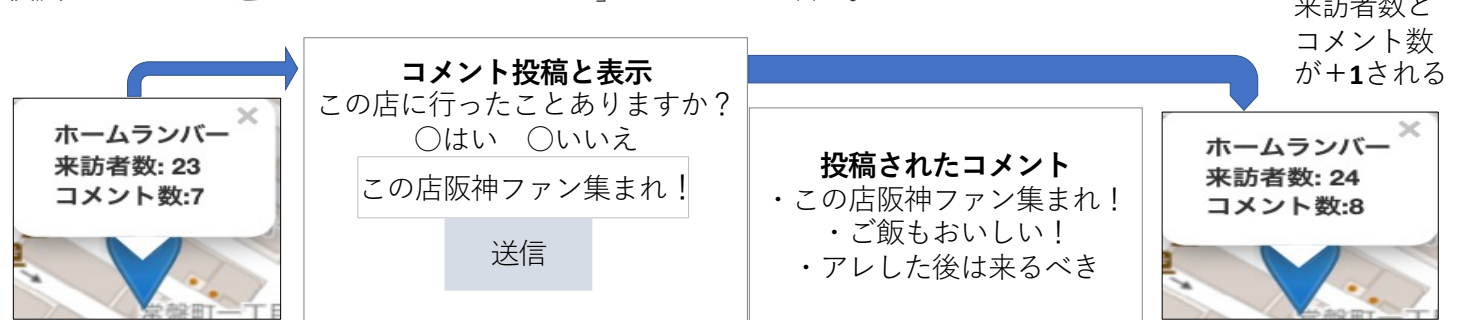
プロ野球の試合後に、ファン同士でオフ会を開くための飲食店を推薦するファン別の飲食店口コミサイトを提案する。これにより土地勘のない場所でもファンの交流が活発になると考えられる。

提案方式



実装（阪神ファンのアカウントで入った場合）

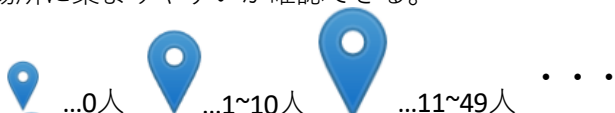
横浜スタジアムの近くにある「ホームランバー」にコメントを書く。



工夫した点

アカウント登録時にファン球団を設定することで12球団×12球場で**144個のマップ**を作成することができる。

ピンの上にポップアップ形式で来訪者数とコメント数を表示することができ、かつ来訪者数が一定数以上増えた場合**ピンのサイズを大きく**した。これによりファン別でどの場所に集まりやすいか確認できる。



まとめ

・ファン別で異なるマップを作成することが可能になり特にビジターチームのファンがオフ会を開催する際、土地勘のない場所でも交流が活発になる。

・今回は野球という形で作成したが、(jリーグ)や(NBA)のファンチーム別も作れることが可能になる。

今後の展望

・ピンのサイズを来訪者数によって変えたため、特定の来訪者の数を検索し、それに合致するピンのみを表示することができればより検索が容易になると考えられる。